



# ESD 通信



## 私たちの町「気仙沼」「松岩」のよさは？

「気仙沼や松岩の良いところを話してください」と、もし他地域に住む方から話されたらどうしますか？私（ESD 担当：佐藤）は、気仙沼生まれで気仙沼育ちですが、「魚がおいしい」とか「祭りの活気があっていい」といった一般的な答えになってしまいます。改めて話されると、ちょっと考え込みます。今回は、我が町のよさについて学習をした、3年生や5年生の学習の様子を取り上げます。

### 3年生 「松岩の名人・名勝を探そう」

6月4日（金）、松岩婦人会の鈴木玲子さんを講師に迎え、松岩地区がいかに恵まれた場所であることを教えていただきました。徳仙丈と太平洋を結ぶ面瀬川と神山川に挟まれた豊かな大地であることについて地図を使って確認。松岩の広さにとても驚く3年生でした。



これは、気仙沼湾でとれたカキ。大きいでしょう。



子ども達は、徳仙丈の美しいツツジや羽田神社の天まで届きそうな杉の木、煙雲館の広い庭園を思い出したり、日本の文豪「落合直文」の母校であることに驚きの声を上げたりと、松岩のよさを一つ一つ確かめていました。

これから、自分達が調べたい松岩のよさを更に深掘りしたり、もっと知りたいことをどんどん追究したりする予定です。3年生プレゼンツ「松岩のよいところ」の発表が楽しみです。



### 5年生 「森と海のつながりを考えよう」～let's go! 舞根森里海研究所～

6月15日（火）、5年生は、体験学習を通して森と海のつながりを知るために、唐桑の「舞根森里海研究所」を訪れました。朝は雨が降っていましたが、5年生が活動する頃には、青空が見え、空と海と森林の広がる光景に出合えました。

牡蠣養殖見学では、学級毎に3艘の船に乗り込み、海の匂いが香る中、60程あるというイカダの前で、畠山信さんから、牡蠣の浄化作用の話や、プランクトン採集の仕方を見させて頂いたりしました。

また、三陸の海にいる生き物（アメフラシやウニ、ヒトデ、カニ、海藻）を実際に触ったり、畠山重篤さん（「おかえりモネ」で養殖名人の主人公のおじいさんが登場します。その方にそっくりな方です）から、今、海が豊かであるのは、森や自然を大切に守ってきている気仙沼の人たちの思いが深いからであることを大変情熱的に話して頂いたり、大変充実した学習を行うことができました。

森の広葉樹の葉が腐葉土となり、その成分が地下水に染み込み、川から海へと栄養分は流れ着き、そして豊かな海が作られているという自然の循環を目の当たりにした時間でした。



知ってる！これはクリガニ

養殖イカダを間近にして

「牡蠣じいさん」重篤さんのお話

海と空と森林と

※ ESD 通信は、ホームページにアップしています。「松岩小学校」でアクセスしてください。写真をカラーで見ることができます。